

代表質問

令和5年 第1回定例会 代表質問



質問者 議員 佐藤 功平

- ・令和5年度予算編成方針について
- ・第2期湯沢市子どもの未来応援計画について
- ・少子化対策について
- ・地熱開発と温泉熱利活用について
- ・稲川老人福祉センター緑風荘の今後について
- ・学校給食業務の民間委託について



質問 枠配分方式による予算編成として2年連続となるが、そのメリットについて伺う。

答弁 枠配分方式導入のメリットとしては、歳入規模に見合った適切な歳出予算が組まれるほか、配分の中で自らの責任において自発的な事業の見直しや優先順位をつけるなど、事業のスクラップ・アンド・ビルドの推進が期待できること、また市民ニーズを現場目線でもり的確に予算に反映でき、職員が財政を意識した事業の組み立てを行うことでコスト意識の向上にもつながる効果があるものと考えて

いる。

質問 湯沢市経営戦略に基づく戦略的な取組を徹底するとあるが、その内容について伺う。

答弁 これまで以上に厳しい行財政環境が続く中で、時代の要請や市民の要望に添えていくためには、施策の重点化と成果を重視した経営的な視点での行政運営が必要となる。強固で堅実な行財政基盤の確立が必要であることから、湯沢市経営戦略を策定し戦略的な経営方針の下で市政を推進していく。

質問 第二期湯沢市子どもの未来応援計画の基本的な考え方を

伺う。

答弁 本計画においては、全ての子供が生まれ育った環境によって左右されることなく、心身ともに健やかに育ち、必要な環境整備と教育の機会が均等に保証され、一人一人が夢や希望をもって成長できるよう、身近な地域や子供の居場所から子供の変化に気づき、早期の支援につながるよう、気づきつながる支援を最も重要な取り組みと位置付けている。

質問 子供の貧困に係る現状と課題について伺う。

答弁 厚生労働省が実施した国

民生活基礎調査によると、平成30年時点で、子供の貧困率は13・5%となっており、子供のおよそ7人に1人が貧困状態にあることが把握されている。

質問 若い世代の出会いの機会創出や、結婚に対する前向きな意識の醸成を図るための対応策について伺う。

答弁 今年度は、新たな取り組みとして、結婚応援スキルアップセミナーを男女別に4回、婚活イベントを2回開催し、結婚に向けた動機付け支援と交流促進を展開した。

質問 少子化に歯止めがかからないのは、これまでの少子化対策が十分ではなかった結果だと認識する必要があるのか伺う。

答弁 少子化対策については、特定の施策により十分に結果が得られるものではなく、多方面にわたり切れ目のない施策の展開が重要であると認識しており、今後も国・県による少子化対策と歩調を合わせながら、引き続き安心して子供を産み、育てることができる環境の整備に努めていく。